

令和 5 年度 利用のてびき



青森県立梵珠少年自然の家

TEL 0173 - 29 - 3303

FAX 0173 - 29 - 3306

E-mail E-BONJU@pref.aomori.lg.jp (自然の家メールアドレス)

hi-bonsho@pref.aomori.lg.jp (研修課メールアドレス)

ホームページ 梵珠少年自然の家 検索

http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/bonju_top_index.html

目次

1 利用について

(1) 申込みから退所まで	1
(2) 利用できる団体	2
(3) 利用できる日	2
(4) 経費	2
(5) 利用時の準備物	2
(6) 利用に関する留意事項	3
(7) 各種様式①	4
利用許可申請書	4
食事数連絡票	4
食物アレルギーに関する調査票	4
野外炊事食材注文書	4
日課表（1泊2日版）	5
シーツ活動材料利用申込書	5
経費内訳書	6
払込取扱表	6
利用期間変更願	6
利用辞退届	6
日課表記入例（1泊2日用）	7

2 生活について

(1) 日課について	9
(2) 宿泊について	10
＜寝具の使い方＞	10
① 宿泊室	11
② テント泊	11
③ ねむの花（身障者宿泊室兼医務室）	12
④ トイレ	12
⑤ 和室	12
⑥ ミーティングスペース	12
⑦ 洗面所、水飲み場	12
⑧ その他	12
(3) 入浴について	13
(4) 食事について	14
① 館内食について	15
＜食事の準備＞	15
＜食事の後片付け＞	16
② 野外炊事について	17

(5) 清掃・ごみについて	18
① 清掃について	18
② ごみについて	19

3 安全について

(1) 考えられる危険	21
(2) 安全に関する重点事項	22
① 非常口・避難場所の確認	22
② 「緊急時対応フロー図」の作成	22
③ 救急病院・救急用具等の確認	22
④ 野外活動の実施判断	22
⑤ 危険生物への対応	23
⑥ 「火を使った活動プログラム」での安全対策	23
⑦ 「刃物をつかった活動プログラム」での安全対策	23
⑧ 食物アレルギー・おう吐への対応	23
⑨ 熱中症・感染症対策	23
⑩ 人身の掌握	23

4 付録

(1) 活動プログラム一覧	24
(2) 利用できる用具一覧	26
(3) 各種料金一覧	28
(4) 各種様式②	29
そうじチェック表	29
おう吐物処理についてのお願い （おう吐物処理マニュアル）	29
利用アンケート	30
食事についてのアンケート	30
(5) 施設について	30
① 活動エリア図	30
② 梵珠少年自然の家見取図	31
③ キャンプセンター見取図	32
④ アクセスマップ	33

1 利用について

(1) 申込みから退所まで

利用前日まで	申込みから入所前までの手続き	お問い合わせ	○ 電話で宿泊の空き状況を確認。 ※空き状況は、ホームページ（『宿泊空き状況』）でもご覧いただけます。
		↓	
		利用申込み	○ 『利用許可申請書※』提出（p4 郵送・FAX・メール）
		↓	
		利用の決定	○ 自然の家から「利用許可書」送付 ※7日以内に届かないときはご連絡ください。
		↓	
利用日	入所の手続き	利用する前月の15日まで	○ 『食事数連絡票※』提出（p4 郵送・FAX・メール）。 ○ 『食物アレルギーに関する調査票※』提出（p4 郵送・FAX・メール）
		↓	
		利用日の14日前まで	○ 「事前研個別研修会」実施。 ※『日課表※』（p5、記入例p7参照）を作成し、この「利用のてびき」とともにご持参ください。日課表は事前研個別研修会の1週間前までに、FAX・メールであらかじめ提出してください。 ○ 『野外炊事注文書※』提出（野外炊事実施時、p4 郵送・FAX・メール）
		↓	
利用日	入所の手続き	到着・入所	○ 8:30分以降、随時可能。
		入所時の手続き	○ 『シート・活動材料利用申込書※』（p5）（青字の欄に申込数を記入。コピー後返却）と活動のしおり2部を自然の家職員に提出
	退所の手続き	研修	
		退所時の手続き	○ 午前10時までに『シート・活動材料利用申込書※』（赤字の欄に実際の利用数を記入）を再提出。
利用日	退所の手続き	退所	○ 8:30分以降随時可能。 ○ 経費内訳書、払込取扱票（振込用紙）（p6）を受理

※の様式はホームページからダウンロードできます。（『申込みから来所まで』のバナーをクリック）

* 令和6年度の利用希望は、令和5年10月下旬に資料を関係団体に送付予定です。必要な方はお問い合わせください。

<変更等の連絡について> 利用日等に変更が生じた場合の対応は以下のとおりです。

内容	提出物	締め切り等	提出方法
利用日変更時	『利用期間変更願※』（p6）	随時	電話連絡後、郵送かFAX
利用辞退時	『利用辞退届※』（p6）	随時	電話連絡後、郵送かFAX
食事数変更の連絡	『食事数連絡票※』等	利用日の4日前まで （土・日・祝日を除く）	郵送・FAX・メール
ジュース・アイスの キャンセルや個数の 変更の連絡	『日課表※』等	利用日の4日前まで （土・日・祝日を除く） ※利用当日の個数変更はできません。 余った分は買い取りになります。	郵送・FAX・メール

(2) 利用できる団体

幼稚園・保育所（園）・認定こども園、小・中・高等学校、特別支援学校、大学、子ども会、スポーツ団体、ボーイスカウト、ガールスカウト、PTA行事等、公民館、児童館、放課後児童クラブ・子ども教室、社会福祉協議会、JRC等

※ 原則として、少年が含まれる団体とします。

※ いずれの団体も当施設の自然体験活動プログラムを1つ以上行うことを条件とします。

《以下の場合には利用できません》
・宿泊のみの利用 **・営利を目的とした利用**
・特定の宗教又は政党のための活動を目的とした利用

(3) 利用できる日

年末年始の休所日（12月29日～1月4日）を除いていつでも利用できます。ただし、空室状況等によって利用できないこともあるので、お問い合わせください。

※ 空き室状況はホームページの『宿泊空き状況』でも確認できます。

(4) 経費

宿泊料・施設使用料は無料ですが、食費・洗濯代・活動材料代等の経費は利用団体の負担となります。

＜経費の内訳＞※経費の詳細はp28「(3) 各種料金一覧」でご覧ください。

項目	支払先	内容	
食事代	マエダ	申込み済みの食数分	・郵便局のATM か窓口で払込み。 ※ATMからの 口座振替推奨。 ・退所後1週間を めどに。
シーツ等洗濯代	三浦クリーニング	宿泊人数分	
・活動材料代 ・ジュース・アイス代	梵珠少年自然の家	・活動材料個数分 ・申込み済みジュースとアイスの個数分 ※いずれも引率指導者分含む	

※現金での払込は、払い込む側に110円の手数料がかかります。また、硬貨の枚数に応じて取扱料金が加算されることがあります。

(5) 利用時の準備物

売店・自動販売機はありません。この他活動内容に応じて必要と思われるものは、ご持参ください。

利用状況	準備物
通常利用	○内履き（館内を利用する時） ○タオル（汗拭き用） ○コップ・水筒等〔コップは用意しておりません〕 ○野外活動に適した服装：ジャージ等、帽子、軍手、運動靴等
雨天	○雨具（カッパ等） ○長靴
冬季	○冬に適した服装：スキーウェア、手袋、帽子、耳当て等 ○長靴等冬用の靴
宿泊	○着替え ○就寝時の寝間着（学校のジャージ等） ○タオル（バスタオル、洗面用） ○シャンプー・リンス、石けん類〔備え付けしておりません。〕 ○ごみ袋〔玄関ホール等にごみ箱はありますが、宿泊室にはありません。〕
その他必要に応じて	○持薬 ○虫よけ ○使用する印刷物〔コピー機は使用できません。〕 等

(6) 利用に関する留意事項

ここでは、利用に関して最低限確認してもらいたい留意事項15項目について述べておきますので、必ず確認してください。

- ① 入所時
 - 研修課職員へ「しおり2部、シーツ活動材料利用申込書（コピーして返却されます）」を速やかに提出してください。
 - 記念写真を撮影する場合は、その分の時間も見込んでください。
 - 引率者の私用自動車は、つどいの広場建物側駐車場を利用してください。
- ② はじめのつどい、おわりのつどい
 - 児童への事務的な連絡は、つどいをいったん閉じてから行ってください。
 - オリエンテーションは約20分かかります。はじめのつどいと合わせて30分はみてください。
- ③ 活動中
 - 厳重に時間管理をお願いします。職員も、できるだけスケジュールどおり進行できるよう協力します。
- ④ 火を使う活動
 - 「野外炊事」「焼板工作」「キャンプファイヤー」などは火を使う活動です。化学繊維やナイロン製品を着用している場合、火の粉により穴が開く可能性がありますのでご注意ください。
- ⑤ 入 浴
 - 引率者の入浴は、23：30までに終了するようお願いします。
※朝にシャワーを利用することはできません。
- ⑥ 施 錠
 - 22：00～6：00の間、館内は施錠されます。開錠する場合は、館内に残る方に施錠を依頼してください。
- ⑦ シーツ・枕カバーの配布
 - 必ず引率者が立ち会って配布してください。
- ⑧ ねむの部屋（医務室）の利用
 - 利用にあたっては、事務室にいる職員へ一声かけてください。
※利用後は、枕カバーのタオルを事務室へ持参してください。
- ⑨ 2日目の2階トイレ・洗面所の利用
 - 2日目の荷物移動後は宿泊室へ立ち入りできませんが、人数の多い団体などはトイレ・洗面所を利用することができます。
- ⑩ 名札の着用
 - 不審者対策として、引率者及び利用団体関係者の名札着用を義務づけます。
- ⑪ 退所時
 - 経費の支払いに使う「経費内訳書」「払込取扱表（振込用紙）」を事務室で受け取ってください。
- ⑫ 敷地内禁酒・禁煙
- ⑬ 節電・節水
- ⑭ 打ち上げ花火・ロケット花火等禁止
- ⑮ 「来たときよりも美しく」

(実寸 A4) ホームページからダウンロードできます。(『申込みから来所まで』)

「利用許可申請書」
利用希望時に提出

「食事数連絡票」
利用する前月の15日までに提出

「食物アレルギーに関する調査票」
利用する前月の15日までに提出

「野外炊事食材注文書」
利用初日2週間前までに提出

〔梵珠少年自然の家 控〕
(No. 1)

梵珠少年自然の家利用 経費の内訳書

係数者 担当者

2020年 5月 14日

利用団体名 青森県立梵珠小学校

【利用期間】 2020年5月14日 ～ 2020年5月14日 【申込取扱費 6 円】

	児童生徒等	引率者	一般	計	払込先
食事代	¥71,410	¥5,790		¥77,200	南アサヒ
洗濯代	¥5,883	¥477		¥6,360	三浦グリーンニング店
活動費	¥18,130	¥240		¥18,370	青森県立梵珠少年自然の家
計	¥95,423	¥6,507		¥101,930	

※納入期間：この内訳書を受領してから7日程度

児童生徒等				
食事代	品名	価格	数量	小計
箱内食	夕食	400	37	14,800
	朝食	370	37	13,690
	昼食	390	37	14,430
	夕食	400	37	14,800
	朝食	370	37	13,690
洗濯代	品名	価格	数量	小計
シャワー(シャワー機キット)				
		159	37	5,883
活動費	品名	価格	数量	小計
ぼんしゅ竹灯籠				
		80	37	2,960
金山桃柱土				
		410	37	15,170

(備考)

上記のものを確認しました。

令和 年 月 日

利用団体担当者氏名

引率者				
食事代	品名	価格	数量	小計
箱内食	夕食	400	3	1,200
	朝食	370	3	1,110
	昼食	390	3	1,170
	夕食	400	3	1,200
	朝食	370	3	1,110
洗濯代	品名	価格	数量	小計
シャワー(シャワー機キット)				
		159	3	477
活動費	品名	価格	数量	小計
ぼんしゅ竹灯籠				
		80	3	240

(No. 1) 1/1 ページ

「経費内訳書」
退所時に受理

令和 年 月 日

青森県立梵珠少年自然の家所長 殿

〒 ー

所 在 地	
団体名(学年)	(年)
代表者(職)氏名	()
電 話	
担当者(職)氏名	()
電 話	

利用期間変更願

下記のとおり、利用期間を変更したいので許可して下さるようお願いします。

記

許可済みの 研修の名称				
許可済みの 利用期間	令和 年 月 日 ()	:	から	(泊 日)
	令和 年 月 日 ()	:	まで	
変更後の 利用期間	令和 年 月 日 ()	:	から	(泊 日)
	令和 年 月 日 ()	:	まで	
備考	(変更にもなう連絡がありましたらご記入ください。)			

※ 郵送またはFAXで提出してください。

提出先 〒037-0611 五所川原市大字神山字後ノ峰 117-602

青森県立梵珠少年自然の家 TEL (0173-29-3303) FAX (0173-29-3306)

※ 利用日4日前(土日を除く)以降の変更については、食費を負担していただくことがありますのでご了承下さい。

「利用期間変更願」
利用期間の変更時に提出

[illegible]

「払込取扱表」
退所時に受理

郵便局払込時の留意点

現金での払込は、払い込む側に110円の手数料がかかります。また、硬貨の枚数に応じて取扱料金が加算されることがあります。よって郵便局の口座から振替を推奨いたします。何卒ご協力をお願いいたします。

令和 年 月 日

青森県立梵珠少年自然の家所長 殿

平 一

所 在 地	
団体名(学年)	(年)
代表者(職)氏名	()
電 話	
担当者(職)氏名	()
電 話	

利用辞退届

下記の原因により、施設利用を辞退します。

記

許可済みの 研修の名称	
許可済みの 利用期間	令和 年 月 日 () から (日) まで
辞退する 理由	
備考	(他の利用希望時期などがありましたらご記入ください)

※ 郵送またはFAXで提出してください。
提出先 〒037-0611 五所川原市大字神山字珠ノ峰 117-602
青森県立梵珠少年自然の家 TEL (0173-29-3305) FAX (0173-29-3306)

※ 利用日4日前(土日を除く)以降の辞退については、食費を負担していただきますのでご了承ください。

「利用辞退届」
利用辞退時に提出

「日課表」記入例

赤字・赤丸の部分は事前研個別研修会時に職員が記入します。

日課表

梵珠少年自然の家

学校・団体名

タヌキ山子ども会

(児生 25 名、引指 10 名、計 35 名)

(1泊2日用)

宿泊経験のある引率者氏名 (梵珠 太郎)

オリエンテーションは、「はじめのつどい」の後か、夕方か選択できます。

1日目: 8 / ○○ (△ 曜日)		2日目: 8 / ○○ (△ 曜日)	
(8:xx) 到着予定 ●シーツ活動材料利用申込書、しおり2部提出 (8:xx) はじめのつどい *場所 () (16:xx) オリエンテーション *荷物搬入場所 ()		(6:00) 起床 音楽 (あり・なし) (6:30) 退所日荷物移動 *荷物搬出場所 () 宿泊室清掃、館内清掃等 (7:30) 朝食 (野外炊事 館内食) (8:30) 歯磨き、活動準備等	
(9:xx) 野外炊事(豚汁) 活動場所 (キャンプセンター) *経験引率者 (梵珠 太郎)	(雨プロ) () 傘マークの欄は雨天時の活動を記入	(9:xx) 森からのプレゼント 活動場所 (研修室1) 経験引率者 (梵珠 花)	(雨プロ) () チャレンジ・ザ・ゲーム 活動場所 (体育館) 経験引率者 (梵珠 太郎)
(12:00) 昼食(野外炊事 持参・注文弁当、*館内食) 昼食場所 (キャンプセンター) (12:45) 歯磨き、活動準備等		(12:00) 昼食(野外炊事 館内食) (12:45) 歯磨き、活動準備等	
(13:xx) アドベンチャービンゴ (16:xx) キャンプファイヤー準備 活動場所 (野外) 経験引率者 (梵珠 花)	(雨プロ) () 森からのプレゼント 活動場所 (研修室1) 経験引率者 (梵珠 花)	() () 活動場所 () 経験引率者 ()	(雨プロ) () 活動場所 () 経験引率者 ()
(17:00) 係活動、ベッドメイキング等 (17:45) 夕食 (野外炊事 館内食) (18:45) 歯磨き、活動準備等		(13:xx) おわりのつどい *場所 () (13:xx) 出発予定	
(19:xx) キャンプファイヤー 活動場所 (学火場) 経験引率者 (梵珠 太郎)	(雨プロ) () キャンドルサービス 活動場所 (体育館) 経験引率者 (梵珠 太郎)	【備考欄】 ●「シーツ活動材料利用申込書」は最終の「利用数」を記入の上2日目の10:00までに再度提出してください。 夜の活動を記入	
(20:30) 入浴 浴室 (松・梅) (22:00) 就寝 消灯(自主) 音楽 (あり・なし)		使う浴室に○をつけます。 就寝時刻を知らせる音楽の有無を選択。	

起床時間を知らせる音楽の有無を選択

午前の活動を記入

午後の活動を記入

以下の条件を満たしていない場合は、利用当日のプログラムの変更・利用をお断りする場合があります。

【条件1】当施設を宿泊利用する場合、引率者のうち1人以上が当施設に宿泊した経験がある。

※「宿泊経験のある引率者」がいない場合は、あらかじめ「宿泊体験」をしてもらい、その資格を得いただきます。

【条件2】利用当日実施する活動プログラムを、引率者のうち1人以上が体験したことがある。

※活動プログラムの「経験引率者」がいない場合は、「事前研全体会」での体験か、「事前研個別研」時の指導(30分程度)により、資格を得られます。

【条件3】実施するプログラムの中に「火を使った活動プログラム」を1つ以上取り入れている。

※当施設では「火を使った活動プログラム」を推奨しています。火を使った活動プログラムは、p24「(1)活動プログラム一覧」を参照してください。

赤枠部分は自然の家職員が記入するところです。

打合せ年月日	令和 年 月 日 ()	AM PM	所員
--------	--------------	----------	----

※ 打合せ年月日等の記入は自然の家職員が行います

利用団体名	担当者氏名	電話番号	
タヌキ山子ども会	梵珠 太郎	所属 0173-00-0000	携帯(当日の連絡用) 080-0000-0000
		所属	携帯(当日の連絡用)
		所属	携帯(当日の連絡用)

緊急連絡用として携帯電話の番号を記入(連絡がつく方を最低一人、記入してください)

引率予定者氏名	梵珠 太郎、梵珠 花
---------	------------

宿泊室割当	西側宿泊棟	指導者室	しらかば	かつら	もみじ	ねむ	もくれん	いちよう
		○	○	○	○	○	○	
		5名	12名	12名	12名	12名	12名	14名
	東側宿泊棟	ダリア	チューリップ	カンナ	すずらん	ゆり	すみれ	すいせん
		12名	12名	12名	12名	12名	12名	14名

複数団体が利用する場合は、あらかじめ宿泊室の割り当てを相談するか、合同の個別研修会で決めます。

使う部屋に○をつける。※宿泊室をすべて使う場合は通常、西側を男子、東側を女子が使用しています。

下足等割当 下足数 228	利用団体名	下足箱		長靴棚
		赤 (96足)	番～ 番	A B C D E F G H I
		青 (72足)	番～ 番	A B C D E F G H I
		黄 (60足)	番～ 番	A B C D E F G H I

ジュース アイス 注文 (あり・なし)	ポカリスエット		お～いお茶 280mlペット	麦茶 630mlペット	アイスパー がりがりくん (ソーダ味)
	500ml ペット	350ml 缶			
	(35) 本	() 本			

ジュース・アイスの注文がある場合、希望数を記入します。
※利用当日の数の変更はできません。

【入所時の確認事項】

- ①「シート・活動材料利用申込書」、「活動のしおり」2部を提出
- ②「はじめのつどい」開始時刻(実施する場合のみ)

*この様式は、「梵珠少年自然の家ホームページ」からもダウンロードできます。

<下足箱の使い方> 下足箱を赤・青・黄の3色に色分けしました。基本的に1団体が1色の下足箱を使います。

- ※ 不明な点は、所員にご相談ください。
- ※ 必要に応じてブルーシートも使えますので、ご相談ください。

例) 大規模団体………赤【96カ所使用可能】
小・中規模団体………青【72カ所使用可能】
小・中規模団体………黄【60カ所使用可能】

<下足箱の配置>



2 生活について

(1) 日課について

- 「日課表」を作成の際は、下記の標準生活時間にそって日程を組んでください。

※館内食と入浴の時間は大きく動かすことはできません。あらかじめご了承ください。

	活 動	標準生活時間	備 考
入所日	入所	8:30～随時	○はじめのつどい：必要に応じて各団体で行います。 ＜参考例＞ ①はじめの言葉 ②自然の家所長の話 ③団長の話 ④児童代表のあいさつ ⑤おわりの言葉 ※引率者の事務連絡はおわりの言葉の後で行ってください。 ○オリエンテーション ：施設の使い方（動画）10分、ベッドの使い方（説明）10分です。 夕方の実施も可能です。
	活動（午前）	9:00～	○活動プログラムが利用できます。※p24「(1)活動プログラム一覧」 p26「(2)利用できる用具一覧」 ※日程の変更については、研修課員にご相談ください。 ※キャンプセンター、キャンプ場の利用をお勧めします。その場合、 オリエンテーションは昼食後か夕方の実施になります
利用日	昼食	12:00～13:00	○食事係は10分前から食堂に入れます。○歯磨き ※p14「(4)食事について」 ※おう吐物処理は利用団体が行います。※p29「おう吐物処理のお願い」
	活動（午後）	13:00～17:45	（午前の活動時に同じ） ○ベッドメイキング ○タベのつどい
	夕食	17:45～18:45	（昼食に同じ）○歯磨き
	活動（夜）	19:00～20:30	（午前の活動時に同じ）
	入浴	20:30～21:50	○一度に利用できるのは10人程度です。 ○30人以下の団体は、梅の湯を男女で時間を区切ったの使用となります。 ※p13「(3)入浴について」
	消灯・就寝	22:00～	○消灯は引率者が行います。 ○就寝時の音楽の有無は選択できます。 ※p10「(2)宿泊について」
	起床・洗面・部屋の清掃	6:00～	○起床時の音楽の有無は選択できます。
退所日	退所日荷物移動	6:30～	○指定された場所へ荷物を移動します。 ○朝のつどい
	分担場所の清掃	7:00～	○使用した場所全部を清掃します。 ○大型ゴミ箱に半分以上入っていた場合は袋を交換し、ごみはゴミ集 積庫へお持ちください。※p18「(5)清掃・ごみについて」 ※清掃後は宿泊室に立ち入りできませんが、人数の多い団体などはト イレ・洗面所を使用することができます。
	退所点検	7:30～	○「そうじチェック表」（p29）で、自然の家職員が点検します。
	朝食	7:30～8:30	（前日の食事時に同じ）○歯磨き ○前日のふりかえり
	活動（午前）	9:00～	（前日の活動時に同じ）
	退所	8:30～随時	○おわりのつどい：必要に応じて各団体で行います。 ＜参考例＞ ①はじめの言葉 ②自然の家所長の話 ③団長の話 ④児童代表のあいさつ ⑤おわりの言葉 ※引率者の事務連絡はおわりの言葉の後で行ってください。

(2) 宿泊について

<寝具の使い方>

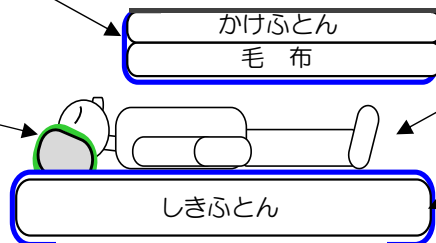
ベッドメイキング

- 利用団体が時間を設定して行います。
- シーツ置き場（スチール棚）は玄関ホールです。1人分はシーツ2枚・まくらカバー1枚です。引率者が立ち会い、配布してください。
- 使用したベッドは「使用」カードを掲示してください。（右写真）
※使用したベッドの区別のために、元に戻さないでください。



- ③ 2枚目のシーツ：まくらをおおった部分をかけふとんの上に折り返し、寝具に体が直接ふれないようにします。

- ② まくらカバー：まくらを入れ、あまった部分は折ってまくらの下に入れます。



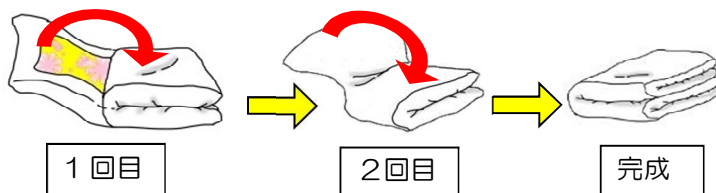
- 2枚のシーツの間に入って寝ます。

- ① 1枚目のシーツ：あまった部分は折って、しきふとんの下に入れます。

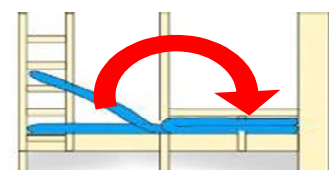
※汚れた寝具（鼻血、おねしょ等）は利用団体が交換してください。
…汚れた寝具は、ふとんカバー等を外さず、1F「ねむの花」のベッドの間の床に置く。
→替えの寝具を和室押し入れから出し、交換する。
→翌朝、寝具の交換を職員に連絡。（宿泊室、寝具の種類等を確認）

ベッドの片づけ

- 利用団体が退所点検前までに行います。
- 使用後のシーツ・まくらカバーの返却場所（水色のカゴ）は玄関ホールにあります。
- ① シーツ2枚とまくらカバーをはずし、持ち運びしやすい大きさにたたみます。
- ② しきふとんは、はしごの反対側に向かって2つ折りにします。
※カバーのひもは壁側に向けます。
- ③ かけふとん・毛布は4つ折りにします。（2回たたむ）

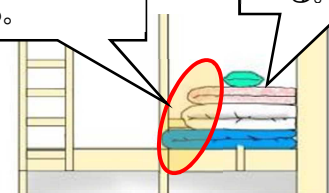


- ④ 右の図のようにふとんや毛布、まくらを重ねます。
※宿泊室にある写真や使用していないベッドも参考になります。
※ふとんの間や下に忘れ物がないか、たしかめてください。



折り目が3つ、同じ向きになるように、重ねる。

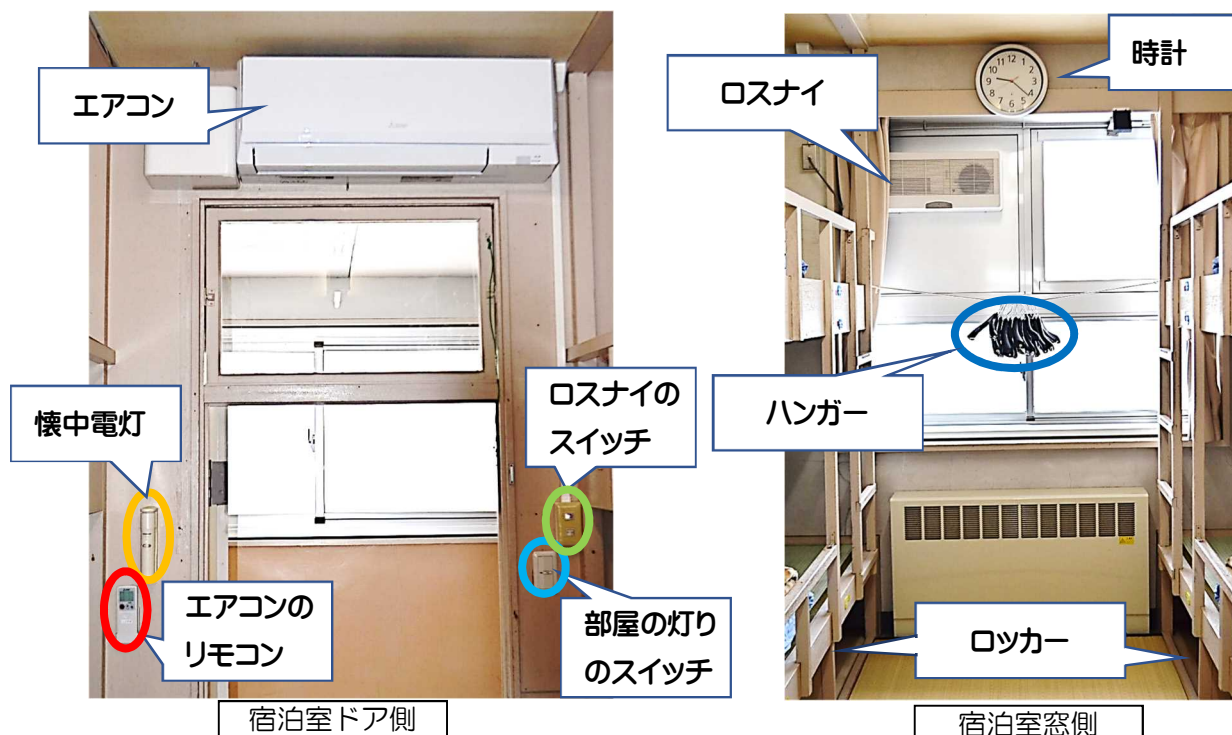
上から
まくら→毛布
→かけふとん
→しきふとんの順
※壁側にそろえる。



① 宿泊室

宿泊室では…・①飲んだり食べたりしない。
・②荷物などの整理整頓をする。
・③ベッドで遊ばない。とび降りない。

宿泊室内の設備
※スイッチやリモコンは、部屋により設置場所が違います。



- 節電のため、宿泊室の電源は 17 時まで入りません。雨天等で 17 時前に入りたいときは、事務室にお声がけください。
- ハンガー、ロッカーを使用できます。(右写真マークの場所)
- エアコンを利用したいときは事務室までお声がけください。
- 宿泊室内にコンセントはありません。
- 宿泊室・廊下の掃除用具は指導者室にあります。
- 指導者室内のマットレスは引率の方がお使いいただけます。(20 枚限定)



ハンガー番号(左)、ロッカー番号(右)。
いずれもベッド番号に対応します。

② テント泊

- ドームテント(1 張に 3～4 名程度)及びシュラフ・ロールマットを貸し出しできます。
- テント泊の場所は通常キャンプ場ですが、場合により体育館内も利用できます。事前研の際にご確認ください。
- ※シュラフにはシュラフ用シーツ 1 枚を使用していただきます。枕はありません。
- テントやシュラフの持ち込みも可能です。

③ ねむの花（身障者宿泊室兼医務室）

- 体調不良による休憩にご利用ください。（事務室にお声がけください）
- 使用終了後、枕カバーにしているタオルを事務室にお持ちください。
- ベッドの間の床が、汚れた布団を置く場所になります。
- 入って左側手前の棚に「おう吐物処理キット」が収納されています。
- 健常者の方は宿泊できません。



ねむの花の「おう吐物
処理キット」収納場所

④ トイレ

- 備え付けのサンダルに履き替えて、ご利用ください。
- つまり等の不具合があるときは、事務室までご連絡ください。



トイレ前サンダル

⑤ 和室

- 引率者の控え室としてご利用できます。
- 交換用の布団等が押し入れの中にあります。
- 冷凍・冷蔵庫（1台）と、冷蔵庫（1台）があります。
注文したジュース・アイスをストックしています。
※朝7:30までに、次の団体が利用できるように、
退室していただきます。



押し入れ



冷蔵庫

- 備え付けの電気ポット等は利用可能です。使用後はお湯をすてる等、後始末をお願いいたします。
- 朝8時頃、次の団体のジュース・アイスが届きますので、その頃にはできるだけ冷蔵庫を空にしてくださいようお願いいたします。
- 宿泊はできません。

⑥ ミーティングスペース

- 引率者の打合せ、班長会議等にご利用いただけます。ホワイトボードは指示・連絡等の記入や貼付けにご利用いただけます。



ミーティングスペース



ホワイトボード

※複数の団体で利用を希望する場合は、団体間で調整してください。

- 設置されている遊び道具や本は自由にご利用いただけます。利用後は後片付けをお願いいたします。

⑦ 洗面所、水飲み場

- 基本的にコップは設置していません。使用する場合はご持参ください。
- 夏季は金山焼テント（体育館横）の流し場で（蛇口4カ所）で歯磨きをすることができます。



カメムシ用ガムテープ

⑧ その他

- 体育館、研修室1・2、2階洗面所前にガムテープを置いてあります。
カメムシ駆除にご利用ください。

(3) 入浴について

- 浴室は「松の湯」「梅の湯」があります。どちらも1回に使用できるのは10人程度です。
※30人以下の団体は「梅の湯」のみの使用となります。
- 複数団体が同時に宿泊する場合は、当該団体同士で事前に打ち合わせの上使用してください。
- 脱衣所手前で内履きを脱いでください。
- 石鹸、タオル等は用意していません。
- 脱衣所の床はすべりやすいので、ぬれた足をよくふいてください。
- ドライヤーの使用を希望する場合は事務室にお申し出ください。



「松の湯」(左)と「梅の湯」(右)。のれんがかかっている場合は使用可能。
※両方使用する場合は、通常「松の湯」を男子、「梅の湯」を女子が、使用しています。



洗面器とイスは使用后、山型につんで整頓してください。

お風呂に入るときは



およがない



**体を流さず
お湯に入らない**



さわがない



**タオルをお湯に
入れない**



**マナーを守って
きもちよく
はいろ**

- 浴室・脱衣場の窓や戸、換気扇のご使用は以下のとおりです。(脱衣所にも掲示されています)

風呂場の窓と戸		
	風呂場の窓	風呂場の戸
4～9月	網戸の窓をあける	しめる
10月～	しめる	しめる
そうじの後で～脱衣所の戸とマット～		
	脱衣所の戸	足拭きマット
晴天	あける	大はバルコニーへ干す。 小は金属パイプへ干す
雨(予報含む)、10月～	あける	大小とも金属パイプへ干す
～換気扇はいつ回す?～		
	入浴時	入浴終了時
4～9月	回す	止める(引率者が行う)
10月～	止める	止める

(4) 食事について

○ 館内食堂での食事（「館内食」）、弁当・携帯食（注文）、野外炊事（食材を注文）が利用できます。

※料金はp28「(3)各種料金一覧」参照

館内食（朝食・昼食・夕食）		○ 館内での昼食利用は、当日退所の団体が優先になります。 ○ 1日目が休日明けの場合、昼食の提供はできません。
弁当 （昼食のみ）	○ 鮭のり弁当 〔鮭、白身魚フライ、ナポリタン、ポテトサラダ、からあげ、肉団子、卵焼き、漬物等〕 ○ 幕の内弁当 〔鮭、エビフライ、ゆで卵、菜の花ナムル、がんもどきと高野豆腐の煮物等〕	○ 弁当は食堂が利用できない昼食と、テント泊の場合に利用できます。 ○ 配達場所はキャンプセンターか、自然の家玄関のどちらかとなります。業者から直接受け取っていただきます。 ○ 弁当の片付けは、容器は「注文弁当回収箱」へ、ごみは燃やせるごみ・燃やせないごみに分別してください。 ※p19「② ごみについて」
携帯食 （朝食・昼食） ※おにぎりセットかパンセットを選べます。 ※紙袋入りです。 ※朝食での利用は8:30からです。	○ おにぎりセット 〔鮭・たらこ・おかか等の具から2個、団体側で選べます。他、魚肉ソーセージと茶〕 ○ パンセット 〔イギリストーストとダブルサンド（ジャム&マーガリン）と茶、バナナ〕	○ 携帯食は食堂が利用できない昼食とテント泊、ハイキング等に利用できます。 ○ 携帯食のごみ等は、紙袋のまま持ち帰っていただきます。 ※p18「(5) 清掃・ごみについて」
野外炊事（昼食・夕食） ※食材のセットを注文し、利用者が調理します。		○ メニューは「カレー」「豚汁（味噌等調味料は別途注文）」「ホットサンド」「ピザ」「流しそうめん」になります。 ※p17<② 野外炊事について>

○ このほか、活動時の水分補給等のために、ジュースとアイスを注文することができます。

事前研（個別研修会）の時に申し込んでください。数量の変更は4日前までで、当日の変更はできません。

（種類と料金は、p28 「(3)各種料金一覧」参照）

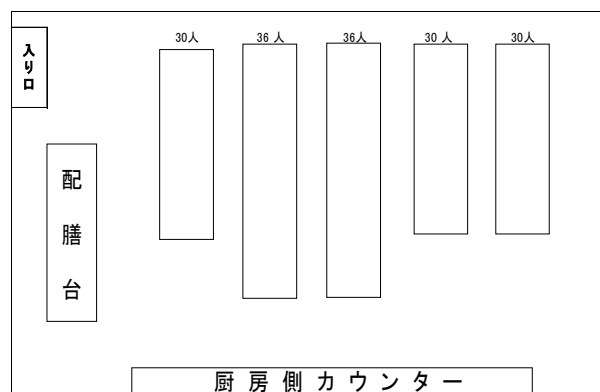
※ジュース・アイスの注文は研修課が行い、食事とは申込み先が異なります。

食事数変更の際はジュース・アイスの数もご確認ください、変更があれば食事数と共にお知らせ下さい。

① 館内食について

- 食堂を利用できる時間は、右のとおりです。
それ以外の時間の入室はご遠慮ください。
※食事係の人は 10 分前から食堂に入れます。
- 食事の前は、必ず手洗いをしましょう。食堂内の手洗い場は 2 カ所だけなので食事係以外の人は 2 階洗面所や体育館横の手洗い場を使用してください。
※同日利用の団体は、座る場所と食事係の割り当てを話し合って調整してください。
※調味料等は職員が各テーブルに準備してあります。
※テーブルは食事前に拭く必要はありません。
※当日下痢や吐き気のある人は、食事係に当たらないようにお願いします。

	入室時間	退室時間
朝食	7:30	8:30
昼食	12:00	13:00
夕食	17:45	18:45

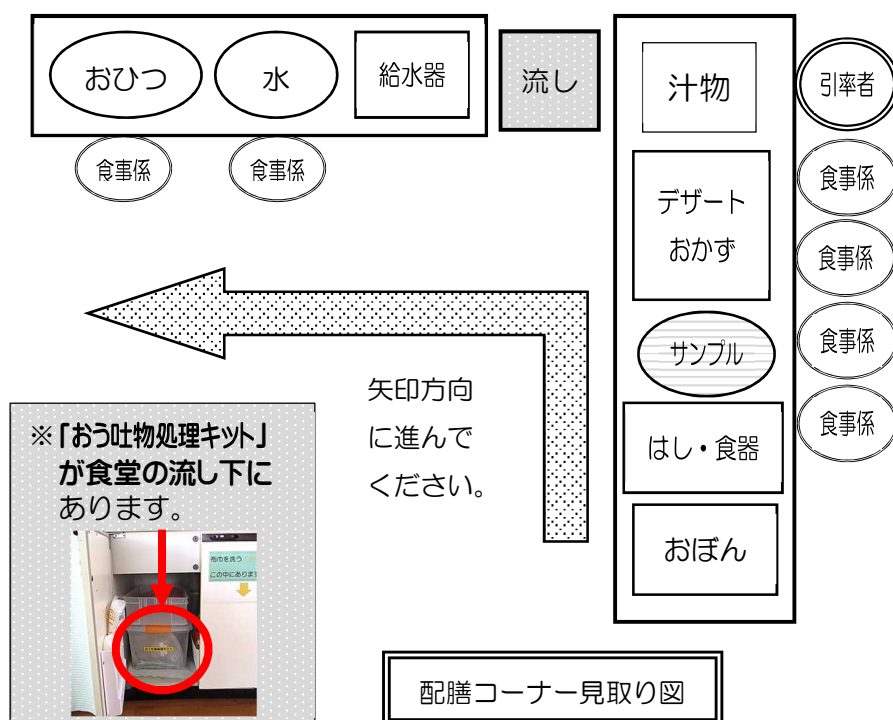


食堂見取図

※利用当日に座席指定をしますが、何か希望がある場合は個別研修時に申し出てください。

< 食事の準備 >

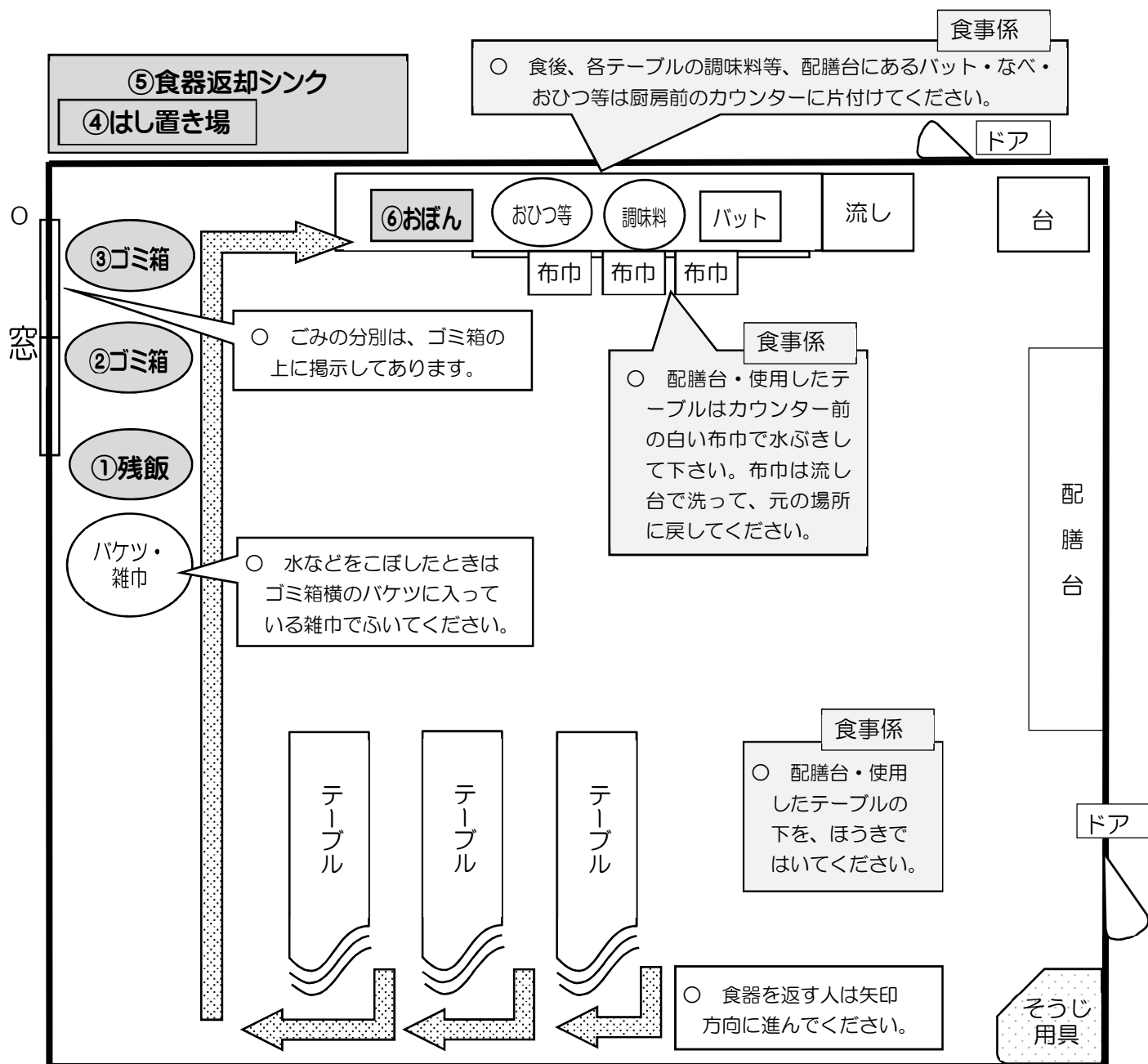
- セルフ方式です。
1 人分は「サンプル」を目安にしてください。
※おかずは余分に用意していません。
- 児童生徒が盛り付ける場合は、必ず引率者が付き添い、特に汁物は大変熱いので、引率者が盛り付けてください。
- 盛り付けに不便を覚えるときは、ご相談ください。
- おう吐した場合は、そのままにして速やかに厨房職員にお知らせください。



配膳コーナー見取り図

おう吐処理対策マニュアルに従って処理方法を説明しますので、利用団体側で処理していただきます。

＜食事の後片付け＞ ①～⑥の順に片付けを行ってください。



＜禁止事項＞

- 食堂に食べ物・飲み物・段ボール箱等を持ち込むこと。
 - 食堂で提供されたものを、食堂の外へ持ち出すこと。
- ※ 食中毒防止等、衛生面の観点から、ご協力をお願いいたします。

② 野外炊事について

○ 野外炊事については以下のとおりです。 ※料金はp28「(3) 各種料金一覧」参照

メニュー	炊事方法	備 考
カレーライス A (6～8人分：セット 内容に米5合を含む)	かまどで薪を使って ご飯を炊き、カレー を作ります。	○ 米を持参することもできます。 ※米が含まれないセットが選択できます。 ○ 燃料(薪)は別途注文するか、持参になります。
カレーライス B (9～12人分：セット 内容に米8合を含む)	かまどで薪を使って ご飯を炊き、カレー を作ります。	○ 米を持参することもできます。 ※米が含まれないセットが選択できます。 ○ 燃料(薪)は別途注文するか、持参になります。
豚汁 (8～10人分：セット 内容に米6合を含む)	かまどで薪を使って ご飯を炊き、豚汁を 作ります。	○ 米を持参することもできます。 ※米が含まれないセットが選択できます。 ○ 味噌等の豚汁用調味料は別途注文になります。 ○ 燃料(薪)は別途注文するか、持参になります。
ピザ (14枚 28人分)	バーベキューコンロ に炭を入れ、ピザオ ーブンで焼きます。	○ 燃料(炭)は別途注文するか、持参になります。
流しそうめん (10人分)	カセットコンロでそう めんをゆで、雨樋で流 して食べます。	○ 燃料(カセットガス)は別途注文するか、持参 になります。
ホットサンド (8人分)	カセットコンロを使 い、ホットサンドメ ーカーで焼きます。	○ 燃料(カセットガス)は別途注文するか、持参 になります。

※注文食材は、当日指定された時間に、キャンプセンターで直接業者からお受け取りください。

※上記メニュー以外の炊事をする場合は、材料はすべてご持参ください。

○ 野外炊事実施の際は、以下のものを利用団体でご用意ください。

- ・カレー、豚汁：スポンジ、洗剤、クリームクレンザー、ふきん、ペーパータオル、新聞紙
- ・その他の炊事：スポンジ、洗剤、ふきん、ペーパータオル

○ **洗った後の調理器具・食器**はしっかり水気を拭き取り、**職員の点検後、収納**してください。

○ 炊事後のごみは、分別の上(p19「② ごみについて」参照)利用団体が当所食堂脇の、ごみ集積庫まで運んでください。

○ 薪の燃えかすは、キャンプセンターの小屋横にあるドラム缶の中に入れてください。

○ **まな板で生肉を切ることはできません。**

○ 炊事用具・食器の利用は無料です。利用できる炊事用具・食器については、p26「(2) 利用できる用具一覧」をご覧ください。

(5) 清掃・ごみについて

① 清掃について

使用した場所はすべて清掃し、机等は元の場所に戻してください。

- 清掃場所…利用箇所全てです。複数団体が宿泊する場合は、当該団体同士で事前に打合わせの上、分担してください。

清掃時間…朝食前までに行ってください。ただし、創作プログラムを行った場合や、日帰り利用の場合は、利用後に活動場所を清掃してください。

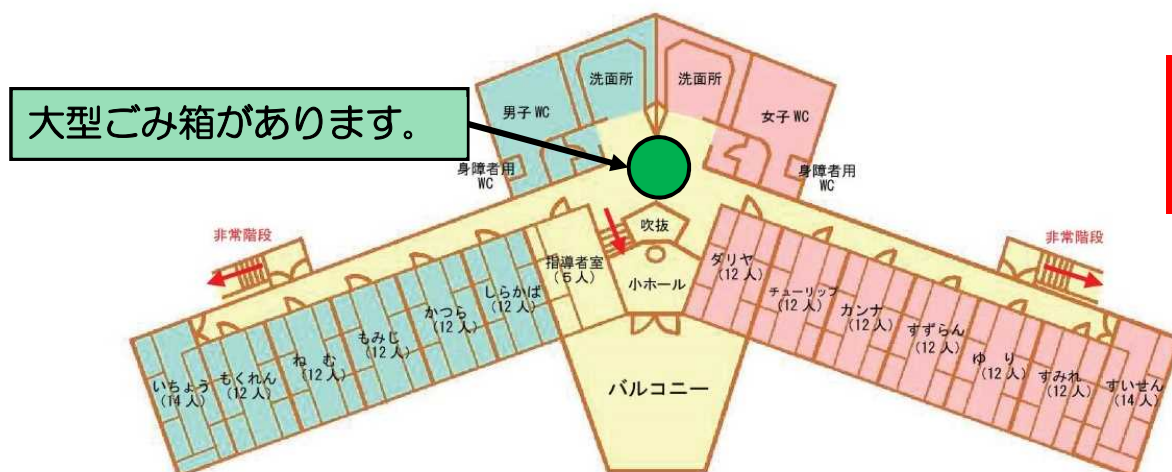
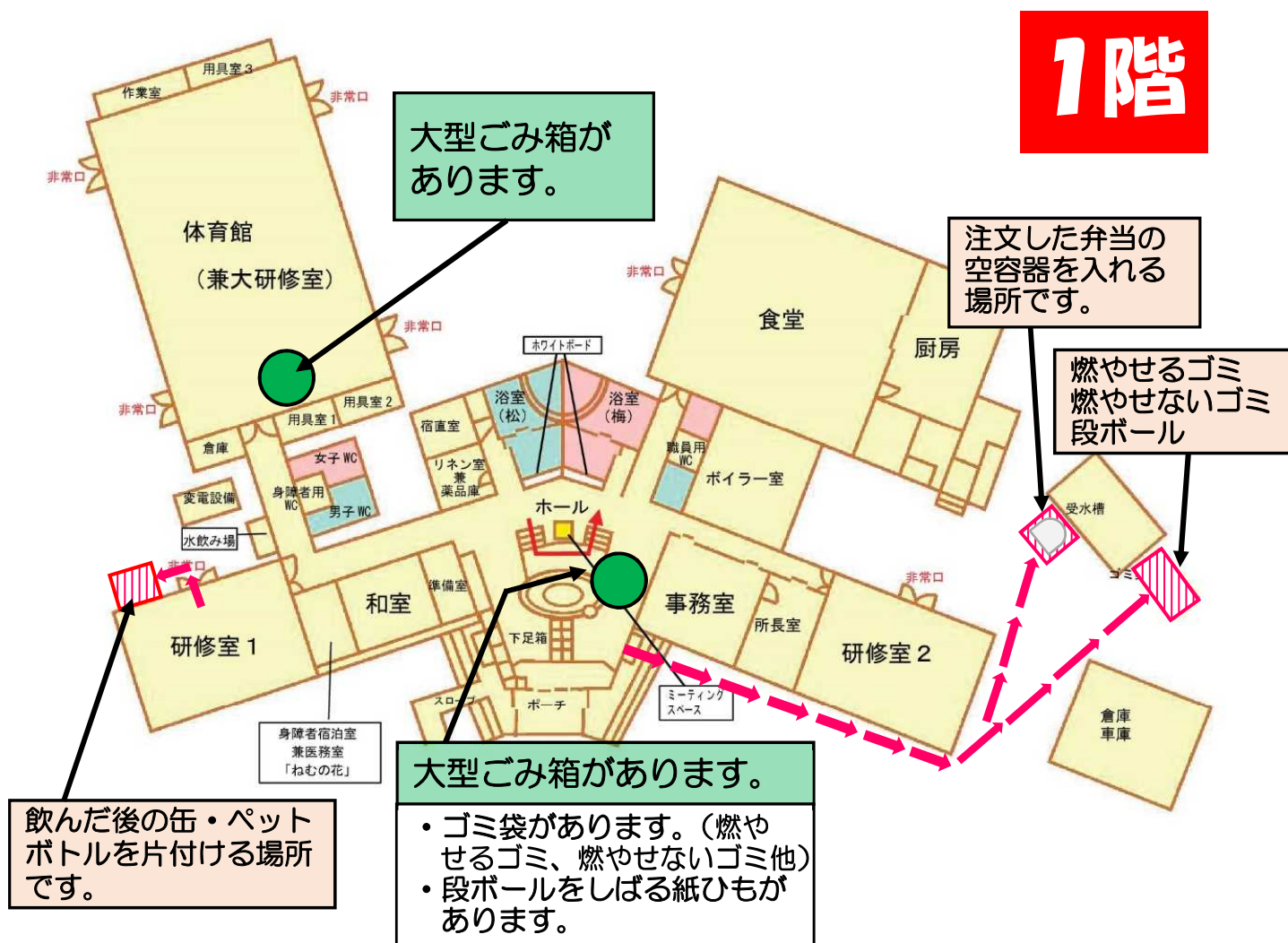
やり方…各清掃場所に掲示しています。(5～10分程度で終わります。)



	清掃場所	用具保管場所	やり方
一階	体育館	体育館	① モップをかける。 ② ごみが半分以上たまっていたら大型ごみ箱を空にし、新しいごみ袋に替える。〔ごみはごみ集積庫へ〕
	研修室1	研修室1	① モップをかける。② ごみ箱を空にする。〔ごみは体育館大型ごみ箱へ〕
	研修室2	研修室2	① モップをかける。 ② ごみ箱を空にする。〔ごみは玄関ホール大型ごみ箱へ〕
	トイレ (男・女) (車イス用)	各トイレ	① ほうきで床をはく。 ② ごみ箱を空にする。〔ごみは体育館大型ごみ箱へ〕 ③ 便器(男子は大)にトイレットペーパーをそなえつけ、水タンクの上に予備を2個置く。 ④ 出入り口のサンダルを整とんする。
	水飲み場(トイレ前)	水飲み場	① 流し場をスポンジで磨く。 ② 流し場のふちの水をふきとる。
	浴室(松・梅)	各浴室 浴室前(梅)	① 浴槽の湯を捨て、風呂場の窓を開ける。 ② 洗剤で床や浴槽とタイルをタワシやデッキブラシで洗い、湯船の湯で流す。 ③ 洗面器や腰かけを整頓する。 ④ 風呂場の戸を閉める。 ※10月以降は風呂場の窓を閉めてください。
	脱衣所(松・梅)	浴室前(梅)	① 足ふきマットを金属パイプに干す。 ② 床をはき、水は雑巾でふく。 ③ ごみ箱を空にする。〔ごみは玄関ホールの大型ごみ箱へ〕 ④ 脱衣所の戸は開ける。 ※10月以降は脱衣所の戸は閉めてください。
	階段・廊下・玄関ホール	浴室前(梅)	① モップをかける。 ② ごみが半分以上たまっていたら大型ごみ箱を空にし、新しいごみ袋に替える。〔ごみはごみ集積庫へ〕
	玄関(タイル部分)	玄関	① ほうきではく。
二階	食堂	食堂	① 毎食後、配膳・食事用テーブルを布巾でふき、下をほうきではく。
	各宿泊室	指導者室	① ふとんをたたむ。 ② カーテンを帯ひもで束ねる。 ③ ほうきでたたみをはく。
	トイレ (男・女)	各トイレ	① ほうきで床をはく。 ② ごみ箱を空にする。〔ごみは洗面所前大型ごみ箱へ〕 ③ 便器(男子は大)にトイレットペーパーをそなえつけ、水タンクの上に予備を2個置く。 ④ 出入り口のサンダルを整とんする。
	洗面所(東・西)	各洗面所	① 流し場にタワシをかけ、流し場のふちや床の水をふく。 ② ほうきで床をはく。 ③ 洗面器を整とんする。
	廊下・小ホール	指導者室	① ほうきで床をはく。 ② ごみが半分以上たまっていたら洗面所前大型ごみ箱を空にし、新しいごみ袋に替える。〔ごみはごみ集積庫へ〕
屋外	トーチ用シンク	玄関	① トーチを解体し、ごみを分別する。〔ごみはごみ集積庫へ〕 ② トーチ棒を元の場所に戻す。 ③ ほうきで燃えかすをはく。 ④ 車庫前の水道にホースをつなぎ、シンクとそのまわりを洗い流す。
	営火場	営火場用具小屋	① 水をかけておいた炭を土のう袋に入れて炭置き場に置く。 ② 前夜に落ち火を拾ったバケツと火ばさみを小屋に戻す。

② ごみについて

- ごみの捨て場所…以下のとおりです。



- 各宿泊室には、ごみ箱はありません。
- 大型ごみ箱は半分以上ごみがたまったら、袋をとりかえてごみ集積庫へ運びます。

○ 分別は、五所川原市の分別方法で分別します。

○燃やせるごみ

- ・木 ・紙 ・炭
 - ・生ごみ など
- ごみ集積庫へ



燃やせるごみの袋

○燃やせないごみ

- ・銀紙 ・ゴム
 - ・プラスチック
 - ・ビニール
 - など
- ごみ集積庫へ



燃やせないごみの袋

事務室前の紙ひも・袋類



紙ひも

燃やせない
ごみ袋

燃やせる
ごみ袋

ボトルキャップ、調味料袋等
を入れる袋

○段ボール：紙ひもで束ねる →ごみ集積庫(「リサイクル」)へ

※紙ひもは、事務室前、キャンプセンターにあります。



ごみ集積庫

○持参した弁当容器・ジュースの缶・ペットボトルなど

：原則として持ち帰っていただきます。※弁当の残飯は「燃やせるごみ」として処分。

○自然の家に注文したもの

【弁 当】：納入業者が引き取ります。燃やせないごみ袋に入れ、ごみ集積庫隣の**注文弁当回収箱**に入れて下さい。

：食べ残し・わりばし等は燃やせるごみです。

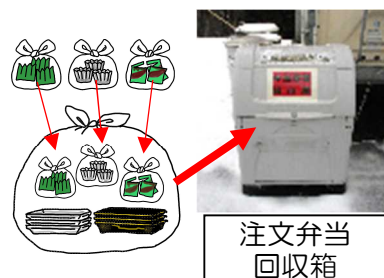
【携 帯 食】：ごみ及び食べ残しは、入ってきた袋に入れてお持ち帰りください。

【ジュースの缶・ペットボトル】：納入業者が引き取ります。燃やせないごみ袋に入れ、**研修室1の非常階段下**に収めてください。

：ボトルキャップは小袋に入れ、燃やせないごみ袋にボトルと一緒に入れます。

：ボトルの包装は取らなくてもいいです。

：ボトルや缶のすずぎは不要です。



注文弁当
回収箱



研修室1
非常口出て左

3 安全について

団体の引率者は、当施設を利用する上での安全対策を講じておく必要があります。以下を参考にしてください。

(1) 考えられる危険

危険の種類	危険因子		引率者の対応
自然による危険	(1) 気象・自然現象	地震、落雷、台風、山崩れ、倒木、落雪、雪崩等	○ 倒木・地面の崩落・危険生物とその痕跡等、危険と思われるものを目撃した場合は、速やかに当施設職員へ連絡してください。
	(2) 活動場所	山、森林、急斜面等	
	(3) 危険生物	クマ	
		サル	
		ハチ（スズメバチ）	
		ヘビ	
		ウルシ	
		ダニ	
物による危険	(1) 道具・装備	野外活動コースのガイドロープ、急斜面のガイドロープ等	○ 野外活動実施日のコース点検や定期的な用具・ガイドロープ等の点検も行っておりますが、引率者は、設備に不具合がないか確認してください。
	(2) 食物・飲料	食物アレルギー、異物の混入等	○ 食事や食材に万が一異常を発見した場合、速やかに自然の家職員に連絡してください。
人による危険	(1) 行為	刃物の扱い、火の扱い、話を聞いていない、悪ふざけ等	○ 「人による危険」は「事前・事中の指導」「活動中の観察」「引率者間による情報の共有」等で大幅に軽減できます。引率者の大切な役割です。
	(2) 能力	体力がない、経験がない、判断力がない等	
	(3) 健康管理	体調不良、熱中症等	
	(4) 実施体制	安全管理に必要な人員の不足、情報共有の不足等	
	(5) 他人	交通事故、不審者、故意や過失等	

(2) 安全に関する重点事項

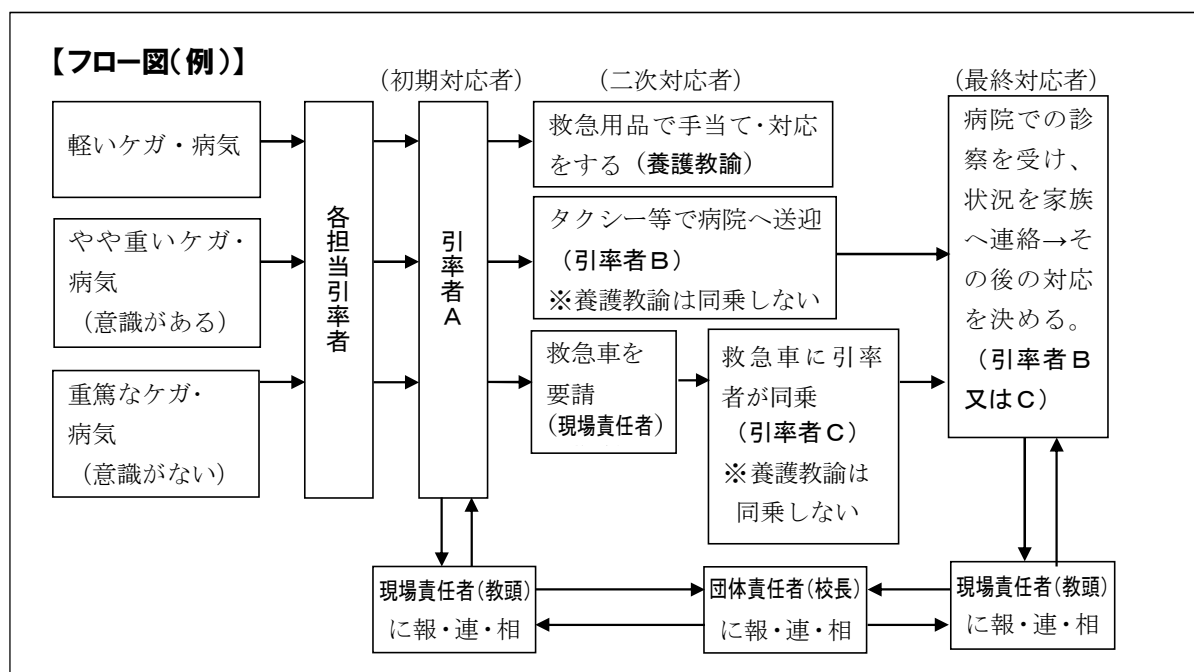
安全に関する事項については、当施設「安全管理マニュアル」(ホームページ『施設の概要 要覧、「利用のてびき」、「安全管理マニュアル」、イベント情報、アクセスマップ』からダウンロード可)を読んで対策を講じてください。ここでは、最低限確認してもらいたい重点事項10項目について述べておきますので、必ず確認をしてください。

① 非常口・避難場所の確認

- 2階宿泊棟非常階段ドア脇(東西2カ所)及び全宿泊室入口ドアに「避難経路図」を掲示しています。宿泊室利用時には一番初めに確認するよう指導してください。

② 「緊急時対応フロー図」の作成

- 緊急時における引率者の役割がわかるような「緊急時対応フロー図」等の作成を推奨します。



③ 救急病院・救急用具等の確認

- 受診できる医療機関については、「安全管理マニュアル」(p30)をご覧ください。また、夜間に受診を希望される場合は、五所川原消防署(0173-34-4999)へ電話すると救急病院の指定が受けられますので、指定された病院へ電話をした上で対処してください。
- 救急用具(救急箱など)は、原則、利用団体が準備してください。また、1階「ねむの花(医務室)」は、傷病時の休息用としてベッドなどを利用できます。
- 事務室前のホールには、「AED(自動体外式除細動器)」を設置しています。

④ 野外活動の実施判断

- 雨天・荒天時における野外活動の実施判断は、原則、利用団体が行います。ただし、自然の家では、警報発令時には「勧告」、注意報発令時には「協議」を申し出る場合があります。
- 気象情報については、8:30と16:30に1階玄関ホール掲示ボードにお知らせしますので参考にしてください。

⑤ 危険生物への対応

- 危険生物（クマ、サル、ヘビ、ハチ、ウルシなど）と遭遇した時に連絡が取り合えるよう、野外活動時には必ず「無線」を携帯してください（最大8台まで貸し出し可能です）。
- 野外活動時のスズメバチ対策として、引率者には殺虫剤（ハチジェット）を貸し出ししますので携帯してください。
- 野外活動エリア外へ出ていくプログラム（「ぼんじゅ里山トレイル」等）を実施する時には、「熊鈴」を貸し出ししますので身につけてください。

⑥ 「火を使った活動プログラム」での安全対策

- 「火を使った活動プログラム」（野外炊事、キャンプファイヤー、焼板工作、ホットボンドを使った創作プログラムなど）を実施する時には、「バケツ水」の準備をしていますので、火傷防止に利用してください。
- 「火を使った活動プログラム」で、化学繊維やナイロン製品を着用している場合、火の粉により穴があいたり、火傷したりする可能性がありますので留意してください。

⑦ 「刃物をつかった活動プログラム」での安全対策

- 「刃物を使った活動プログラム」（包丁、のこぎり、カッター、小刀、キリ、剪定ばさみなど）では、刃物を持ち運ぶ時に、刃を下に向けて持ち運ぶように注意喚起してください。
- 「刃物を使ったプログラム」で、刃物を使用する時には、けが防止のため「軍手」など（手にフィットするもの）をつけて作業することを推奨します。

⑧ 食物アレルギー・おう吐への対応

- 食物アレルギーの有無を事前に把握し、食物アレルギーがある場合は、「食物アレルギーに関する調査票」（p 4）を提出の上、自然の家栄養士とよく相談の上対応してください。
- おう吐があった場合は、「おう吐物処理マニュアル」（p 29）に従って利用団体側に処理してもらっています。これは、食中毒二次感染予防のために行っていることですので、あらかじめ誰が処理するのかを決めておいてください。

⑨ 熱中症・感染症対策

- 熱中症対策として、①衣服の調節、②こまめな水分補給、についてあらかじめ考えておくことが必要不可欠です。また、館内では宿泊室、研修室1・2、「ねむの花」にはエアコンが完備されていますので、必要に応じて利用してください。
- 感染症対策として、別紙「感染症に関わる留意点～With コロナ～」を事前研（事前研）で配布しています。前日、当日等の動きについてよく確認の上、ご理解とご協力をお願いします。

⑩ 人身の掌握

- 活動の前後や活動中など、常に点呼をとるなどして人数の確認などを行ってください。野外活動時などは、「無線」を使って関門通過の確認などを行うことができます。
- 就寝時の消灯確認は「自主消灯」のみとなっています。各宿泊室の消灯を確認する時に、人数の確認も必ず行うようにしてください。

4 付録

(1) 活動プログラム一覧 以下の活動プログラムが利用できます。

※対象欄中の番号は ①：幼児～小学2年、②：小学3～6年、③：小学5年～中学・高校、全：どの年齢でも実施可 を表します。

プログラムの概要			期待できる力					対 象	所 要 時 間
～実施にあたっては、自然の家職員による説明を受けることができます～ ※（新規）は新規、（改訂）は改訂したプログラムです。火を使うプログラムには㊦を付しています。 ※火を使う活動では化学繊維やナイロン製の服に、火の粉で穴が開く可能性がありますのでご注意ください。			協 調 性	自 然 愛 護	自 主 自 立	集 団 規 律	創 意 工 夫		
野 外 活 動 （ 夏 季 ）	アドベンチャービンゴ	森林コースをサインに従って歩き、関門を回りながらビンゴゲームを楽しむ活動	○		○	○		③	3
	イニシアティブゲーム （改訂）	エリア内に設定された課題を、グループで協力しながら解決する活動	○		○		○	③	2
	QRゲーム（改訂）	タブレット端末で設置された指令を読み取り、協力して課題を解決しながら歩く活動	○			○		③	1.5～3
	ほんじゅ里山 トレイル	自然の家から里山を通して、近隣に所在する名所を目指す活動。	○	○				③	4～2.5
	自然ふれあい ハイク（改訂）	「見どころマップ」やルーペ等を持ち、選択したコースをたどりながら自然に親しむ活動	○	○				全	1～2
	ふれあいゲーム （改訂）	参加者と引率者が、各チェックポイントのゲーム等でふれあいながらゴールを目指す活動	○				○	①	0.5～1.5
	コマずたんけんたい	協力してコマ図からコースを読み取り、チェックポイントの課題を解決しながら歩く活動	○		○			①	1
	ほんじゅモルック	モルック棒を投げ、スキttlという12本のターゲットを倒し、50点ちょうどを目指すゲーム	○			○		③	1.5～2
	梵珠ディスクゴルフ	フライングディスクを使ったゴルフのようなゲーム	○			○		全	1～2
	虫取り遊び	「虫取りあみ」と「虫取りかご」を使って虫取り遊びをする活動		○			○	全	1～2
	ザリガニ釣り （改訂）	梅枝とたこ糸を使って釣り竿を作り、その後エサをつけてザリガニ釣りをする活動		○			○	全	1～1.5
	わんぱく原っぱ運動会 （新規）	キャンプ場の草原で各種目を楽しみながら高得点を競う活動	○			○		①	1～1.5
	ぐるぐる火起こし ㊦	原始的な火起こしの方法である「舞ざり」で火を起こす活動		○	○			③	0.5～1
	キャンプファイヤー ㊦	自然の中で火を囲み、儀式、歌、踊り等で仲間との協力や親睦を深めたりする活動	○	○				③	1.5
	梵ファイヤー ㊦	自分たちで薪組みと着火をするたき火を行う活動	○	○				③	1.5
	暗闇ビンゴ	クイズとビンゴを楽しみながら、ふだん経験することの少ない夜の自然を感じる活動	○	○				③	1.5
	星空ウォッチング （改訂）	プラネタリウムやタブレット端末による観察をとおして宇宙をより身近に感じる活動	○	○				③	1～1.5
	テント泊	テント設営とテント生活について、実技をとおして学ぶ活動	○		○	○		③	プログラムによる
	カレー、豚汁 ㊦	焚火でご飯をたいたり、カレーや豚汁を作る活動	○		○			③	2～3
	ホットサンド ㊦	ホットサンドメーカーでホットサンドを焼き、味を楽しむ活動	○		○			②③	1.5
	ピザ ㊦	粉をこねて発酵させた生地を作り、ピザ専用オーブンで焼く活動	○		○			②③	2～3
野 外 活 動 （ 冬 季 ）	流しそうめん ㊦	ガスコンロでそうめんをゆで、雨樋を利用して流しそうめんを楽しむ活動	○		○			全	2
	スノーシュー ハイキング	スノーシューをはいて雪上を歩き、アニマルトラッキングや冬芽の観察をする活動	○	○				②③	1～1.5
	ふれあいビンゴ冬	参加者と引率者が各チェックポイントでゲームなどでふれあいながらゴールを目指す活動	○	○			○	全	2
野 外 活 動 （ 冬 季 ）	チューブそり遊び	雪の上をチューブそりで滑り、雪に親しむ活動	○		○			②③	1～1.5

プログラムの概要 ～実施にあたっては、自然の家職員による説明を受けることができます～ ※（新規）は新規、（改訂）は改訂したプログラムです。火を使うプログラムには㊦を付しています。 ※火を使う活動では化学繊維やナイロン製の服に、火の粉で穴が開く可能性がありますのでご注意ください。			期待できる力					対 象	所 要 時 間
			協 調 性	自 然 愛 護	自 主 自 立	集 団 規 律	創 意 工 夫		
野 外 活 動 （ 冬 季	スノーランド遊び （新規）	冬の自然の中で様々な活動をする楽しさを味わい、 自然に親しむ心を育む活動		○		○	○	①②	1～2
	雪上運動会（新規）	雪上の運動会として得点を競いながら、冬の自然を 楽しむ活動	○	○		○		全	1～1.5
	雪灯籠づくり	リンゴ箱に雪を詰め込んで作ったブロックを積み上 げてけずり、雪灯籠を作る活動	○				○	③	1.5～2
	鍋焼きうどん （新規）	好みの材料を持参してガスコンロと土鍋で、鍋焼き うどん作りを楽しむ活動	○		○		○	③	2～2.5
	ぶんぶんアイス	雪を利用して手作りアイスを作る活動	○				○	②③	1
屋 内 活 動	梵珠チャレンジ・ザ ・ゲーム	グループで交流しながら記録に挑戦し、遊び感覚で 身体を動かす楽しさを味わう活動	○				○	③	2
	室内イニシアティブ ゲーム	館内に設置した様々な課題を、グループで協力して 解決する活動	○		○		○	③	1.5
	ぼんじゅ室内 ペタンク	目標球にボールを投げ合って、相手より近づけるこ とで得点を競う活動	○			○		③	1～2
	ぼんチャレンジピック	手軽に各種目を楽しみながら高得点を競う活動	○		○		○	全	2～3
	キャンドルサービス ㊦	ろうそくの火を囲み、儀式、歌、踊り等で仲間との 協力や親睦を深めたりする活動	○	○				②③	1～1.5
創 作 活 動	焼板工作 ㊦	杉板材を焚き火で焼き上げ、たわしで磨きあげて絵 付けし、素朴な木工品を作る活動			○		○	③	2～3
	森からのプレゼント	木の板に小枝や松ぼっくりなどの自然物を飾り付け、 壁かけを作る活動		○			○	③	2～3
	森のタペストリー	布に自然物をはりつけ、オリジナルの壁掛けを作る活動		○			○	③	1
	動物マグネット	自然の木の实や小枝等を使い、動物のマグネットを 作る活動		○			○	③	1～1.5
	森のガーランド	複数の自然物を梅枝にぶら下げ、室内飾りを作る活動		○			○	全	1～1.5
	ぼんじゅプレスレット	バラコードを編んで、オリジナルのプレスレットを作る活動			○		○	③	1.5
	森のストラップ	どんぐりや木の輪切り、松ぼっくり等を使って独自の ストラップを作る活動		○			○	③	1～1.5
	えんぴつストラップ	北限の梅の枝を使って、3色の色鉛筆風ストラップ を作る活動		○			○	③	1
	金山焼	地域の陶芸「津軽金山焼」の製作を当施設で体験する活動		○			○	②③	2～3
	きになる木	梅枝や木の实などの自然素材を使って、木をかたどっ たオリジナルの壁掛けをつくる活動		○			○	②③	1～1.5
	ぼんじゅ竹灯籠	真竹と和紙を使ってとうろうを作る活動		○			○	②③	2
	森のネックレス	複数の自然物を毛糸に結びつけ、ネックレスを作る活動		○			○	全	1～1.5
	プラバンストラップ	プラスチックの板に絵や文字を描き、トースターで 焼いて、キーホルダーを作る活動			○		○	全	1.5
	梵珠チャカボコけん玉	真竹を加工して、昔から伝わるけん玉を作る活動		○			○	③	2
	竹の万華鏡	真竹を使って、不思議な模様が見える万華鏡を作る活動		○			○	③	1～1.5
	ブンブンごま	昔から伝わる素朴な遊び道具のブンブンごまを作る活動		○			○	③	1
	梵珠ブーメラン	発泡塩ビ板で、投げると手もとにもどってくるブー メランを作る活動			○		○	③	2
	竹の水鉄砲	真竹を使って水鉄砲を作る活動		○			○	②③	1～1.5
	竹の空気鉄砲	女竹を加工し筒と押し棒をつくり、和紙を玉にして飛 ばす空気鉄砲をつくる活動		○			○	②③	1～1.5
	梅枝輪ゴム銃	北限の梅枝を使って輪ゴムをとばす銃をつくる活動		○			○	②③	1～1.5
	まつぼっくりけんだま	カップと松ぼっくりでオリジナルけん玉を作る活動		○			○	①	0.5～1
	バードコール	天然の木を使い、鳥の鳴き声に似た音が出る鳥をよ せる道具を作る活動		○			○	全	2

(2) 利用できる用具一覧

梵珠少年自然の家では、以下の物品が無料で利用できます。

館内活動					
プロジェクター	3	マイクスタンド（長）	1	女神・付き人用衣装 （青赤ワンピース 小）	青1 赤1
CDラジカセ	1	ピンマイク	1		
ポータブルアンプ	2	コードリール（ドラムコード）	2	女神・付き人用衣装 （ボンチョ 小）	4
DVD・VHSデッキ	1	女神・付き人用衣装 （ワンピース）	6	女神・付き人用冠	8
液晶テレビ	2				
電子オルガン（キーボード）	1	女神・付き人用衣装 （セパレート）	3	ろうそくホルダー 小	139
チューナー・アンプ	1			ろうそくホルダー 大	3
CDデッキ	1	女神・付き人用衣装	青1	燭台（大 160 人用）	1
ワイヤレスマイク	3	（青赤ワンピース 大）	赤1	燭台（小 30 人用）	1

野外活動・自然観察					
無線機	8	りんごコンテナ	29	双眼鏡	3
赤ゼッケン（ビブス）	30	スノーソー	36	双眼鏡用三脚	4
青ゼッケン（ビブス）	30	スノースコップ	34	懐中電灯	23
黄ゼッケン（ビブス）	30	雪ベラ	22	虫めがね	62
かんじき	45	移植ベラ	19	ルーペ	62
スノーシュー（大）	17	チューブそり（大・小）	10	タブレット端末	19
スノーシュー（小）	32	プラスチックそり	47	ミニ天体望遠鏡	5
スパッツ	58	天体望遠鏡	1		

スポーツ・レクリエーション					
空気入れ	8	ユニホックパック	3	キャッチング・ザ・リング	1
ドッジボール	12	ユニホックゴール	2	ロープ・ジャンプ用縄（短）	6
バレーボール用ボール、ネット	1	卓球ラケット	21	ロープ・ジャンプ用縄（長）	12
バスケットボール	5	ピンポン球	139	ヒューマンロコモーション	1
バスケットボール用ゴール	2	卓球台、ネット	4	フラフープ	16
バドミントンラケット	11	フライングディスク	81	ペタンク	6
バドミントン用ボール、ネット	2	ディスクゴルフゴール	3	得点板	2
インディアカ	10	サークル・ジャンプ	5	ストップウォッチ	4
ユニホックスティック	32	バンブー・ダンス	2	巻き尺	1
ユニホックボール	16	キャッチング・ザ・スティック	8	モルック	10

キャンピング					
6人用ドームテント	30	春秋用シュラフ	57	夏用シュラフ	54
ロールマット	66	冬用シュラフ	49		
LEDランタン	30	ヘッドライト	21		

創 作 活 動					
ラジオペンチ	57	ステープラー	15	小刀（左手用含む）	68
カッターナイフ（大）	37	カッターマット	52	グルーガン	60
はさみ	37	のこぎり（大）	49	剪定ばさみ	58
直定規（30cm）	64	のこぎり（小）	48	ポリバケツ	40
穴開けパンチ	33	かなづち（大）	21	オープントースター	4
ドライバー（セット含む）	9	かなづち（小）	103	卓上ボール盤	2
ピンセット	86	キリ	60		

※接着剤・画材等の消耗品は上記に含まれていません。

そ の 他					
長机（体育館）	69	指揮台	1	黒板（研修室2 固定）	1
パイプイス（体育館）	173	スクリーン（体育館固定）	1	流し台（水道付・体育館横）	4
長机（研修室1）	20	スクリーン（研修室1 固定）	1	電気ポット	2
パイプイス（研修室1）	60	移動式スクリーン（研修室2）	1	冷蔵庫（和室）	2
長机（研修室2：白+茶）	17	移動黒板（体育館）	2	冷蔵庫（キャンプセンター）	2
パイプイス（研修室2）	26	移動ホワイトボード（体育館）	2	冷凍庫（リネン室）	1
演台（体育館）	1	黒板（研修室1 固定）	1		

野外炊事道具					
ずんどう鍋（直径27cm）	27	せん抜き（缶切り）	24	BBQコンロ（体育館横）	8
ずんどう鍋（直径33cm）	2	さいばし	48	BBQコンロ（キャンプセンター）	9
ずんどう鍋（直径39cm）	3	カレー皿	138	火ばさみ（体育館横）	81
まな板	24	ご飯茶碗	177	火ばさみ（キャンプセンター）	63
まな板（薄・小）	20	どんぶり	162	カセットコンロ	26
ライスクッカー	23	中皿	78	コッヘルセット	9
ボール（大）	39	湯のみ茶碗	254	ピザオーブン	12
金ざる	11	はし	130	ピザ用木板	14
プラスチックざる	12	スプーン（大）	358	ピザカッター	15
包丁	29	スプーン（小）	21	ホットサンドメーカー	15
果物ナイフ	28	かまど	24	ダッチオーブン	24
ピーラー（皮むき器）	25	かまど用鉄格子網	24	スキレット	20
たま杓子	30	流しそうめん用雨樋	6	土鍋	20
飯へら	35	はけ（クレンザー塗り用）	13	マグカップ	66
トンブ（大）	9	計量カップ	20		
トンブ（中・小）	22	計量スプーン	14		

○施設外に貸し出しできる物品もあります。その際はご相談ください。
（『出前講座』の『間接指導』扱いとなります。）
○利用希望が重複したときは、前泊の団体が優先となります。

(3) 各種料金一覧

食事や活動材料の料金です。

<食事代>

(1) 館内食	朝 食	1 食	390円
	昼 食	1 食	410円
	夕 食	1 食	420円
(2) 野外炊事	カレーライス A (6~8 人分)	1 セット	1,759円
		米持参の場合	1,489円
	カレーライス B (9~12 人分)	1 セット	2,770円
		米持参の場合	2,338円
	豚汁 (8~10 人分)	1 セット	1,851円
		米持参の場合	1,527円
	豚汁の調味料	ほんだし 8g×4本入り	149円
		みそ 650g入	375円
		みそ 3kg入	753円
		みりん風 400ml入り	138円
	ピザ (14 枚 28 人分)	1 セット	5,523円
	流しそうめん (10 人分)	1 セット	609円
	ホットサンド (8 人分)	1 セット	1,967円
(3) 弁当	幕の内弁当	1 食	460円
	鮭のり弁当	1 食	500円
	携帯食 (パン)	1 食	440円
	携帯食 (おにぎり)	1 食	420円

<シーツ等洗濯代>

(1) シーツ・枕カバー洗濯代 (1 人分: シーツ 2 枚、枕カバー 1 枚)	1 セット	200円
(2) シュラフ用シーツ洗濯代 (1 人分: シーツ 1 枚)	1 枚	140円

<活動材料代等>

キャンプファイヤー 燃料代	1 回 灯油 20L まで (60人以上が目安)	2,500円	森のタペストリー	1 個	40円
			ぼんじゅブレスレット	1 個	100円
			森からのプレゼント	1 個	60円
	1 回 灯油 10L まで (60人以下が目安)	1,250円	金山焼	1 個	460円
			竹の水鉄砲	1 個	90円
			ぼんじゅ竹灯籠	1 個	90円
炊事・焚ファイヤー用薪代	1 束	400円	梅枝輪ゴム銃	1 個	30円
炊事用炭代	1 キ ロ	250円	竹の空気鉄砲	1 個	40円
カセットガス代	1 缶	250円	きになる木	1 個	30円
ろうそく	大 (赤) 1 本	180円	まつぼっくりけんだま	1 個	30円
	中 (赤) 1 本	40円	プラバンストラップ	1 個	50円
	小 (白) 1 本	10円	森のガーランド	1 個	30円
火起こし用火きり杵セット	1 人	20円	森のネックレス	1 個	30円
焼板工作 (燃料薪代を含む)	1 枚	130円	バードコール	1 個	150円
梵珠チャカポコけん玉	1 個	110円	写真プリント代	1 枚	30円
動物マグネット	1 個	30円	ポカリスエット500mlペット	1 本	130円
竹の万華鏡	1 個	130円	ポカリスエット350ml缶	1 缶	120円
えんぴつストラップ	1 個	50円	お〜いお茶 (緑茶) 280mlペット	1 本	115円
梵珠ブーメラン	1 個	100円	麦茶630ml ペット	1 本	130円
森のストラップ	1 個	50円	アイス	1 個	76円

(4) 各種様式②

そうじチェック票		
月 日 【利用団体名】 (点検者)		
・当施設職員による点検時間 ・利用団体による再確認 7:30~8:30 ~9:00		
【☑ のある項目について再度確認をしてください。】		
1階		
清掃場所	再確認項目	
体育館	□モップがけ	□ごみ箱
研修室1	□モップがけ	□ごみ箱
研修室2	□モップがけ	□ごみ箱
水飲み場	□流し場のふちの水のふき取り	
男子トイレ	□掃き掃除	□トイレットペーパーの補充 □ごみ箱
女子トイレ	□掃き掃除	□トイレットペーパーの補充 □ごみ箱
男子浴室・脱衣所	□脱衣場の濡れ □タイル部分のそうじ	□ごみ箱
女子浴室・脱衣所	□マット干し(2種類とも干します) □掃き掃除	□脱衣場の濡れ □タイル部分のそうじ □ごみ箱
階段・玄関ホール・廊下	□モップがけ	
玄関(タイル部分)	□掃き掃除	□ごみ箱
※ 女子トイレの汚物入れのゴミは、そのままにしておいてください。		
2階		
清掃場所	再確認項目	
男子トイレ	□掃き掃除	□トイレットペーパーの補充
男子洗面所	□流しのふち・床の水のふき取り	□掃き掃除
女子トイレ	□掃き掃除	□トイレットペーパーの補充
女子洗面所	□流しのふち・床の水のふき取り	□掃き掃除
廊下・小ホール	□掃き掃除	□ごみ箱
※ 女子トイレの汚物入れのゴミは、そのままにしておいてください。		
屋外(キャンプファイヤーを実施した団体)		
清掃場所	再確認項目	
營火場	□キャンプファイヤーの後始末	
トーチ用シンク	□トーチ棒の後片付け	□シンクの水洗い

2階【宿泊室】 【☑ のある項目について再度確認をしてください。】			
清掃場所	再確認項目	清掃場所	再確認項目
指導者室(5)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)	ダリヤ(12)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)
しらかば(12)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)	チューリップ(12)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)
かつら(12)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)	カンナ(12)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)
もみじ(12)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)	すすらん(12)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)
ねむ(12)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)	ゆり(12)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)
もくれん(12)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)	すみれ(12)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)
いちよう(14)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)	すいせん(14)	□掃き掃除 □カーテンの帯留 □布団の直し ペグ番号 不具合の状況 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分) 緑青団 敷青団 毛布 (10分 10分 10分 10分 10分)

「そうじチェック表」：退所点検ではこれに基づいて職員が点検します。

利用者の皆様	
おう吐物処理についてのお願い	
梵珠少年自然の家	
感染性胃腸炎（ノロウイルス等）による食中毒の発生・二次感染を防止するため に以下のことについてご協力願います。	
感染性胃腸炎の発生・二次感染の防止を徹底するため、利用者がおう吐した場合、 おう吐物 処理マニュアル に沿って処理をお願いします。 感染性胃腸炎の感染の被害を拡大しないためにも、何卒ご理解、ご協力をお願いします。	
おう吐物処理マニュアル	
1. おう吐した場合、 事務室または厨房に連絡し、処理セットを受け取ってください。 2. すみやかに周りにいる 児童・生徒を移動 させてください。 3. おう吐物の処理は、利用団体の引率者等、 大人の方が適切に処理 してください。 4. 処理にあたるときは、 素手では行わない でください。 5. おう吐物、おう吐した場所は、必ず裏面に記載してある方法で消毒 してください。 6. 処理時とその後は窓を開けるか、換気扇をまわして空気を入れ換えを行ってください。 7. 処理が 終わったら必ず手洗い を行ってください。 8. おう吐物処理の 記録を 用紙に記入してください。 9. おう吐した方が 感染性胃腸炎と診断された場合、自然の家までご連絡 ください。	
詳しい処理方法については裏面をご覧ください	

おう吐物の 処理方法		※事務室または厨房に連絡し、「おう吐物処理 セット」を受け取ってください。 ※まわりにいる児童・生徒を移動させ、窓を 開けるか換気扇をまわして行ってください。	
1 処理する人は、使い捨てブロン・ マスク・手袋を着用します。	2 希釈用ボトルに塩素をキャップ1杯入れ ボトルの線まで水を入れて消毒液をつくり ます。	塩素と水を入れたら 軽くふって 混ぜます	
3 おう吐物はペーパータオルや新聞紙を使って静かにぬぐい取りビニール袋に入れます。 すぐにビニール袋内に消毒液をしみ込ませる程度に入れて口を結びます。 (消毒液をしみ込ませた紙類でふき取ってもよい)	4 おう吐物が付着した床と周辺に広めに 新聞紙を敷き、その上から湿すように 消毒液をまきます。10分程度置いて 雑巾でふき取ります。	5 処理に使用した物すべてを ビニール袋に入れ、消毒液をしみ込 ませて口を結びます。	使用後の手袋は 裏面を包み込む ように裏返して はずします
6 ビニール袋を五所川原市指定のゴミ袋に 入れ、 屋外のゴミ置き場へ 持てます。	7 処理が終わったら、手洗・うがいをし 記録用紙に記入します。	処理した月日 時刻・場所等を 記入して ください	

「おう吐物処理についてのお願い」(おう吐物処理マニュアル)

※ホームページからダウンロードできます。(『施設の概要 要覧』、「利用のてびき」,「安全管理マニュアル」、イベント情報、アクセスマップ)のバナーをクリック)

送付状不要
(1枚でOK)

FAX IN
0173-29-3306

梵珠少年自然の家
研修課 行き

梵珠少年自然の家 利用アンケート

梵珠少年自然の家をご利用いただき、ありがとうございます。皆様のご意見をこれからの運営に活かすため、以下のアンケートにご協力をお願いします。ご利用後、引率者間で出た反省などをとにご記入の上、FAX又は郵送でご提出ください。

団体名 _____

1 自然の家を利用して、以下の満足度を教えてください。

(1) 全体について	満足	やや満足	やや不満	不満
(2) 職員の対応について	満足	やや満足	やや不満	不満
(3) 施設・設備について	満足	やや満足	やや不満	不満

【ご意見等】 ※よかった点や悪かった点などご記入いただければ参考にさせていただきます。

2 自然の家を利用中、事故やけがはありましたか。

☐ なかった ☐ あった

「あった」と解答した場合は、ご記入ください。

日時： ____月 ____日 ____時 ____分 場所： _____

負傷者名（性別）： _____

概要： _____

3 今回のプログラムの他に体験してみたい活動があれば、ご記入ください。

4 その他、お気づきの点や要望等がありましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました

「利用アンケート」

食事についてのアンケート

梵珠少年自然の家

お忙しいところ恐れ入りますが、次のアンケート調査にご協力をお願いします。

利用団体名 _____

○食事の量について

ごはん a. 多い b. ちょうどいい c. 少ない

汁物 a. 多い b. ちょうどいい c. 少ない

おかず 量 a. 多い b. ちょうどいい c. 少ない

品数 a. 多い b. ちょうどいい c. 少ない

○味付けについて

a. 濃い b. ちょうどいい c. 薄い

↑どのメニューが? _____ 汁物・おかず

○温度について

a. あつい b. ちょうどいい c. つめたい

○献立内容、食堂の利用等についてご意見・ご感想をお聞かせください。

ご協力、ありがとうございました。

「食事についてのアンケート」

(5) 施設について

① 活動エリア図



1 階

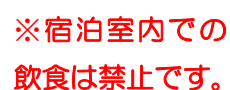


食堂

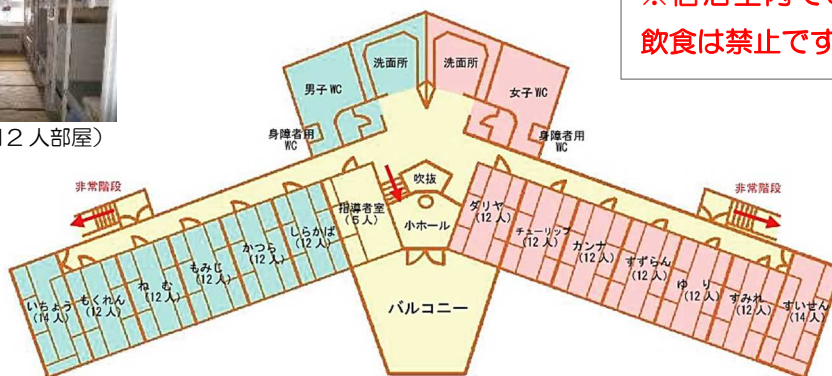


研修室2

A photograph of a three-tiered metal shelving unit with nine shelves. The shelves are labeled A through I. Shelves A, B, and C are on the left; D, E, and F are in the middle; and G, H, and I are on the right. Orange lines connect the labels to their respective shelves.

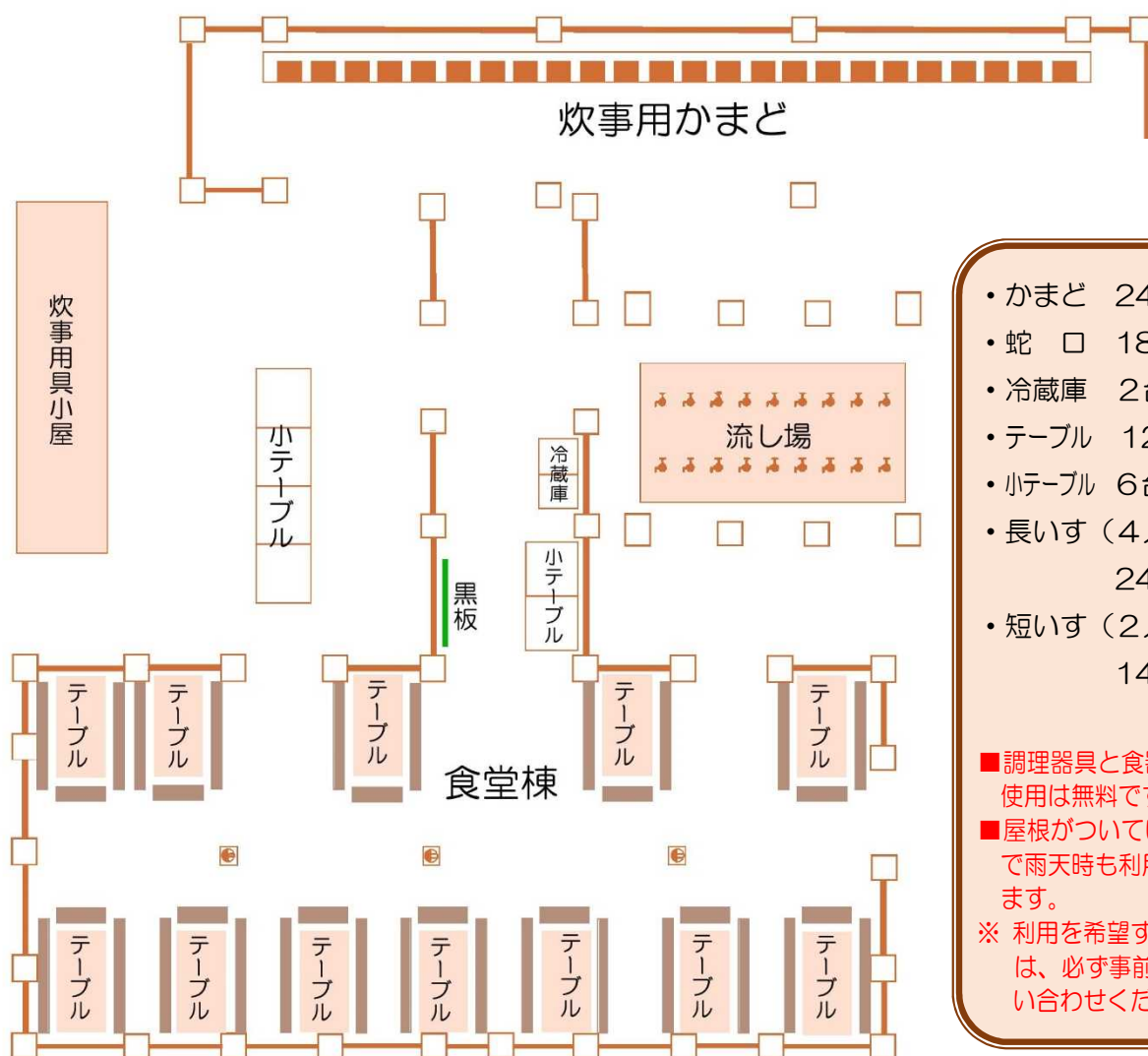


宿泊室 (12 人部屋)



宿泊室（14 人部屋）

③ キャンプセンター見取り図



- ・かまど 24 個
- ・蛇 □ 18 個
- ・冷蔵庫 2 台
- ・テーブル 12 台
- ・小テーブル 6 台
- ・長いす (4 人用) 24 台
- ・短いす (2 人用) 14 台

■調理器具と食器類の使用は無料です。
 ■屋根がついているので雨天時も利用できます。
 ※ 利用を希望する場合は、必ず事前にお問い合わせください。



④ アクセスマップ



《主な交通機関》

自動車……国道 7 号線大沢迦西交差点から約 15 分
 ……津軽自動車道五所川原東 IC から約 10 分
 ……〃〃〃五所川原 IC から約 10 分
 タクシー……JR 五能線五所川原駅から約 20 分

周辺の施設

施設名	施設の概要
①県立自然ふれあいセンター 青森市浪岡大沢迦字 沢内沢 1-1 TEL:0172-62-4527	・展示ホール ・レクチャールーム (120 名) ・キャンプ場 (100 名) ※梵珠山登山を体験できます。
②津軽金山焼 五所川原市大字金山字 千代鶴 5-79 TEL:0173-29-3350	・ギャラリー和土 (わんど) ・研修センター ・工房 ・各種焼窯 ※金山焼の体験ができます。
③立佞武多の館 五所川原市大町 506-10 TEL:0173-38-3232	・美術展示ギャラリー ・立佞武多製作所 ・制作体験 ※立佞武多の見学ができます。

